

研究評価委員会におけるコメント

第30回研究評価委員会（平成23年11月24日開催）に諮り、以下のコメントを評価報告書へ附記することで確定した。

1. バイオマスエネルギー技術研究開発／セルロース系エタノール革新的生産システム開発事業（中間評価）

- ◆ プロジェクトを進めるにあたって、他の競合技術との比較は重要である。今後、トータルのベンチマーキングをクリアしながら進めていただきたい。

2. 「次世代照明等の実現に向けた窒化物半導体等基盤技術開発／次世代高効率・高品質照明の基盤技術開発」（中間評価）

- ◆ 次世代照明の必要性については将来も含め非常に強く認識されているが、実用化、事業化についてはネックがある。コスト、省エネルギー性のような経済的な価値も評価した上で世界的シェアをとるためには、単にそれだけでなく演色性や品質、人間工学的特性等の非経済的価値でブランドを持つような戦略とシナリオの作り方を考えないといけない。

3. 生活支援ロボット実用化プロジェクト（中間評価）

- ◆ 国際標準規格を作成することは重要であるが、規格とか認証機関をつくっても市場での実績がなければ全く役にたたなくなってしまう。今後、どのように運用していくのかも考慮しながら安全規格、試験機関および認証機関を構築していただきたい。